

全国高校 男子選抜大会

飛龍ベスト8成らず!

岡豊高校に逆転負け 掛川工業初戦敗退



「不屈」の応援団旗を先頭に入場行進をする飛龍チーム

三月十八日から始まった第25回全国高校男子選抜大会は全国から45チームが参加。静岡県からは飛龍高校と掛川工業が出場。飛龍高校は三回戦で第23回大会優勝の高知県の岡豊高校に接戦の末、3対4で破れ、ベスト8入りは出来なかつた。なお、掛川工業は初回は初回に2点を先取したものの、直後に3点を取られ

常葉菊川(一部)準優勝

全国私学ソフトボール大会

牧之原支部主管で開催された第52回全国私立高等学校女子ソフトボール大会には全国から44チームが参加。四日間に亘る熱戦を展開した。静岡県から常葉菊川、藤枝順心、城南静岡、飛龍の四校がエントリー。試合は出場チームを11ブロックに分け、リーグ戦を行い上位2チーム(一部)と、下位2チーム(一部)のそれぞれ22チームで決勝トーナメントを行ない覇権を争った。静岡県チームは全てリーグ戦で上位を占め、一部の決勝トーナメントに出場し、常葉菊川

幸運な決勝点でオール清水3連覇! 第62回国体選考会



国体選考会連覇のオール清水

【決勝】 0120000 3 0000002 2 常葉菊川 1 聖カタリナ女子 星野 0120000 3 0000002 2 常葉菊川

御前崎支部主管で御前崎多目的グラウンドで開催された第62回国体選考会に、21チームが参加。オール清水が決勝で駿河真和クラブを1対0で破り三連覇を達成した。

【準決勝】オール清水(清水)7-0藤枝選抜(藤枝)、駿河真和クラブ(沼津)3-2静岡選抜(静岡)

【決勝】駿河真和クラブ 0000100 0 オール清水 0000100 1



佐川急便を完封した東投手

「スピード、パワーが全てが違う。でも何も出来ないことはない。ただ、選手個々のプライドが高い、オーラみたいなものを感じる。失うものはない、これからは一つずつ丁寧に勝ちたい。」 (八木)

三種公認審判員合格者

- ▽二月四日袋井支部 池田佳彦、池谷守俊、村松隆、二橋敏夫、島 静雄、加藤孝司、相沢忠明、原川則昭、加藤智志、鈴木秀和、森下真吾、永井賢司、金井篤史、小川浩司、名倉貴博、小田修司、小林昭明、中谷清隆、浦田剛一(以上浜松)、小西政昭、山内基史、鈴木剛二、後藤昭雄、松井 智、木船英雄、花嶋 毅、池田輝彦、松世公二、伊藤昌英、小栗毅士、中村和三、上堀孝仁、山本純伯、山本正芳、門名明孝、柴田正彦、川原邦彦、川島直也、平野寿二、徳則寿春、保科雅之、鈴木民治、富田恭弘、句坂寿富(以上磐田)、福代浩一、黒田 直、川島正嗣、赤堀裕紀、赤堀 準(以上菊川)、安西 誠、野辺秀仁、赤堀宏通、石神昌紀、鈴木悠太郎、伊藤佑太、杉浦泰裕、川口博文、小田邦浩、川口正晴、水野文秋、清田利忠、萩原 央(以上御前崎)、伊藤裕之、友寄文昭、野野 純、嶋 健吾、石川好巳、吉永優、池野 勝、純木智彦、鈴木猛也、鈴木教示(以上袋井)、柏木裕司(以上掛川)

- ▽三月十八日掛川支部 稲垣 敏、増田充浩、枝村伸太郎、大柳公彦、松井利光、平井 真、大場 真、山崎貴哉、松浦功一、久保田紀充、米山勝己、遠山敦宏、西尾貞男、高柳宏幸、景家信治、高橋孝広、飯田高史、出口陽規、山田千雄、佐藤亮太、飯田光光、森 雅也、栗山和人、松浦佳之、青木 孝、酒井幸司、栗山和人、松浦佳之、平井祐哉、勝間田俊之、車田正和、山下竜也、田中忠三、松浦伸巳(以上掛川)、内田豊、森 泰宏、原田和明、石井 賢、鈴木智彦、山田雅之、波多喜代広、河合竜也、名倉眞吾、山本陽介(以上浜松)

岐阜へ、出前コーチ?



リリーのタイミングを指導する白鳥トレーナー委員長

【Topix】 白鳥 優トレーナー委員長

「イチ招聘事業」の一環であるビッチングクリニックの講師として招かれた。クリニックには岐阜県各地から17名の投手が招聘され、七、八名が強化選手として、さらなるビッチング研修を重ね、ステップアップを図っていく。クリニックではビッチングフォーム

九十九シニア(清水)が優勝

三月十八日より静岡支部主管で開催された、第20回静岡県シニアソフトボール大会は各地区から31チーム

【準決勝】清水九十九シニア2-1静岡クラブシニア、飛龍浜北クラブ5-2掛川シニア(決勝)

【三回戦】清水九十九シニア7-0浜松バワ

【準決勝】清水九十九シニア2-1静岡クラブシニア、飛龍浜北クラブ5-2掛川シニア(決勝)

静甲(株)日本リーグ3勝

平成十九年度日本女子1部リーグが四月二十一日(土)に開幕し、五月二十七日(日)で第四節が終了した。本県から加盟している静甲(株)は3勝6敗で8位。

【開幕戦】 三井監督 「開幕戦で厳しさを知った。このままじゃ勝てないと思う、練習を厳しくした。現時点での3勝は出来過ぎ

【スビード、パワーが全てが違う。でも何も出来ないことはない。ただ、選手個々のプライドが高い、オーラみたいなものを感じる。失うものはない、これからは一つずつ丁寧に勝ちたい。」 (八木)